

# 教職の魅力創造プロジェクトにおける成果

## 令和5年度「小学校教員体験セミナー」を振り返って

叶内 有希絵（山形県教育局高校教育課指導主事）

### 1. 小学校教員体験セミナーについて

教員は子どもたちの成長に携わることができる大変魅力的な職業ですが、本県でも教員志願者の減少は大変深刻な状態にあり、教員を目指す若者の確保が急務となっています。これを踏まえ、県教育委員会では小学校教員という職業に興味を持っている高校生を対象にした「小学校教員体験セミナー」を令和2年度より実施しております。今年度は、山形市に加え、長井市の協力を得て、県内5校で実施しました。また、引き続き今年度も地域教育文化学部の先生方をはじめ、大学生の皆様から引き続き多大なる御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

事前オリエンテーションでは、大学院教育実践研究科の森田智幸准教授による講義や大学生・大学院生とのグループワークを実施しました。これらの活動を通して、参加した高校生からは小学校での体験活動に向けて授業や児童を見る視点をより明確にすることができたとの声が多数ありました。また、小学校では、校長先生等による講話と激励、配属クラスでの児童との交流や学習支援を行い、小学生と関わることの喜びや難しさを体験することができました。体験活動当日も大学の先生方、学生の皆様には終始サポートや声掛けをいただきました。体験活動での気づきを大学生とともに振り返り、言語化することによる高校生の学びの深まりは目覚ましいものがありました。大学での学びの一端を体験した高校生が、その後の高校生活でも自らの学びを切り拓いていくことを確信したところです。

### 2. 「教職の魅力創造プラットフォーム会議」に参加して

本会議は、大学教員、教育行政、学校関係者、大学生、高校生が一堂に会し、それぞれの視点から教職の魅力を整理し、魅力創造に向けてプロジェクト全体の方向性を決めるといふ、非常にフラットに意見を交わせるプラットフォームです。それぞれの所属で何ができるのかを共に考え、連携及び発信することができる全国でも類を見ない取り組みです。第2回会議では、様々な年代やバックグラウンドを持つ者が集まり、教職の魅力について語ることの有用性が話題となりました。また、参加した高校生からもプロジェクト内の各事業について、自らの生き方と現在の学びを結びつける点で有用だったとの声がありました。県教育委員会としましても、未来の山形県の教育を支えていくため、本会議の充実に向けて諸機関との連携をさらに図ってまいります。

### 3. 今後の教職の魅力創造について

「ブラック」という側面がマスコミから大きく取り上げられている教職ですが、高校生は「小学校教員体験セミナー」で教員を体験することでその魅力に改めて気づき、大学生との振り返りで教員の魅力を言語化することで、教員になりたいという気持ちを強めています。中・高・大とそれぞれの教育段階で行うセミナー等がキャリア形成に大きな意味を持つことから、今後も小学校教員体験セミナー等の事業の改善と充実に向けてまいります。今後どうぞよろしく願いいたします。